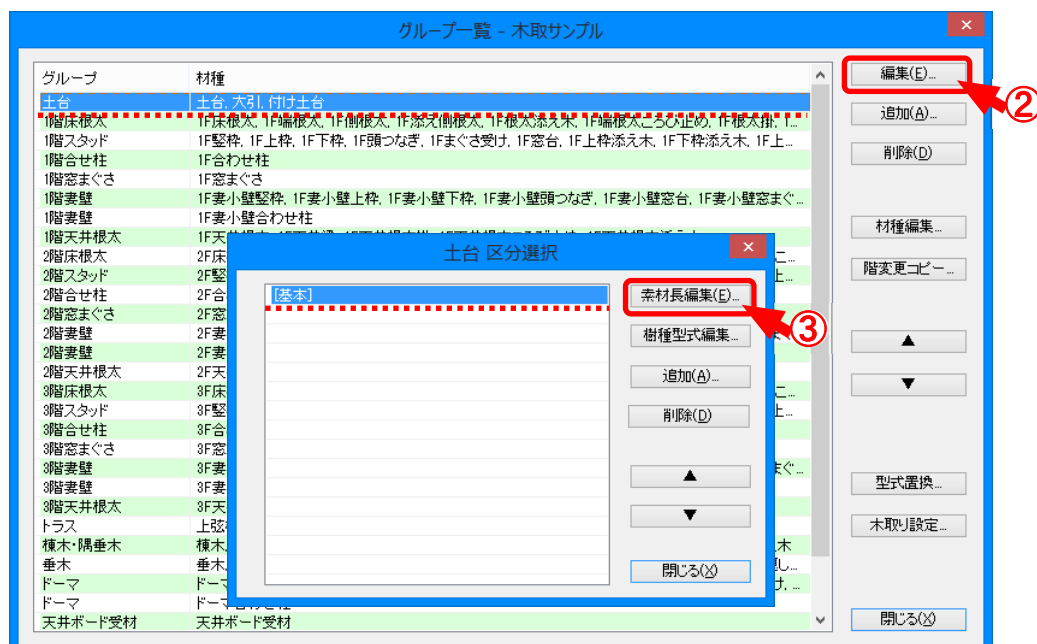


補助－マスター編集－木取りマスター／編集／区分選択



木取りマスター／編集／区分選択では、グループ内に木取り内容を設定できます。

① 〔補助－マスター編集〕の「木取りマスター」を選択し、「編集」をクリックします。

② 木取りルールを選択し、「編集」をクリックします。

「グループ一覧」の画面でグループを選択し、「編集」をクリックします。

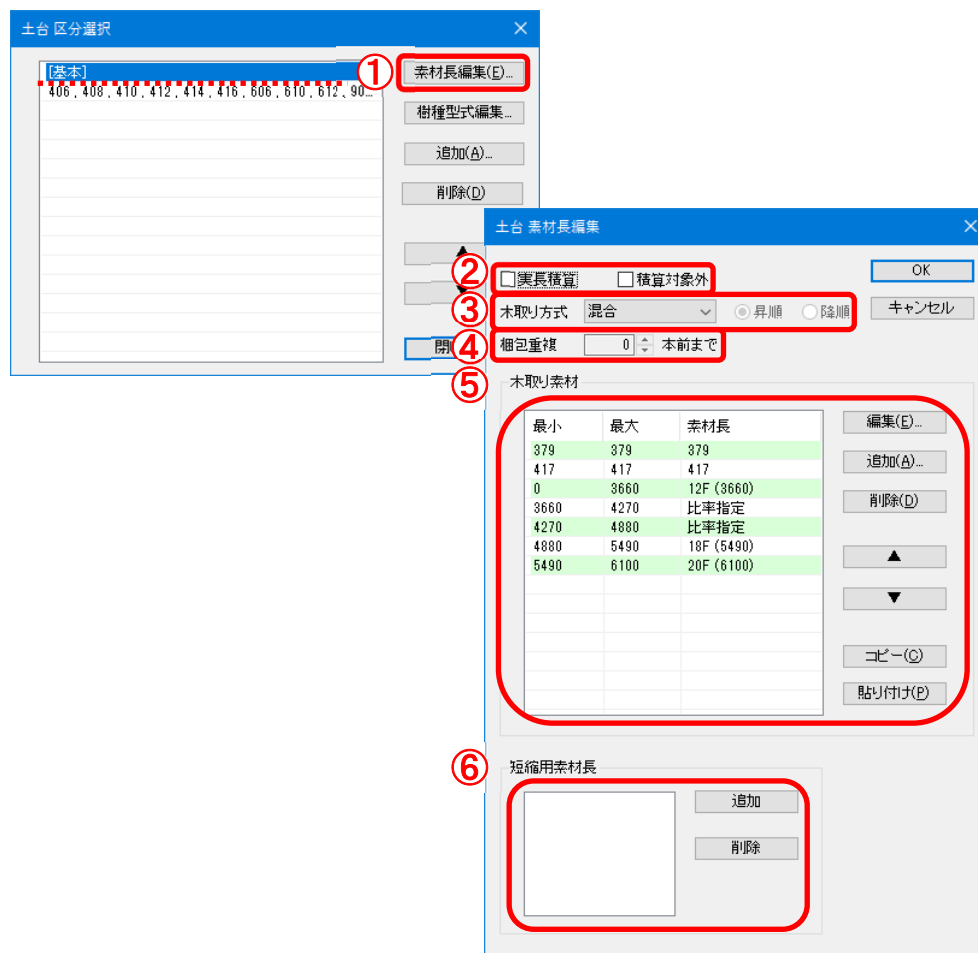
③ 「区分選択」の画面が表示されます。

グループ内の材は、「[基本]」に設定された木取り内容で積算を行います。

※ グループ内の指定した材のみ別の木取り内容で積算することもできます。

木取り内容の変更は「[基本]」を選択し、「素材長編集」をクリックします。

補助—マスター編集—木取りマスター／編集／区分選択／素材長編集



補助—マスター編集—木取りマスター／編集／区分選択／素材長編集では、木取り内容を設定します。

- ① 「区分選択」の画面で編集する区分を選択し、「素材長編集」をクリックします。
- ② 「素材長編集」の画面が表示されます。
 - ・実長積算：木取りを行わず、配置された材の材長のまま集計します。
 - ・積算対象外：区分に該当する材は積算されません。

補助—マスター編集—木取りマスター／編集／区分選択／素材長編集

木取り方式 ☒ 昇順 ☐ 降順

③ 木取り方式を選択します。

・混合：グループ、材種単位で長い材から順に木取りを行います。

・ユニット別：グループ、材種単位でユニット別に木取りを行います。

「昇順」「降順」でユニット番号を昇順で木取りするか、降順で木取りするかの木取り順序を選択します。

・梱包領域別：グループ、材種単位で梱包領域別に木取りを行います。

「昇順」「降順」で梱包領域番号を昇順で木取りするか、降順で木取りするかの木取り順序を選択します。

・屋根面別：グループ、材種単位で屋根面別に木取りを行います。

「昇順」「降順」で屋根番号を昇順で木取りするか、降順で木取りするかの木取り順序を選択します。

梱包重複 本前まで

④ 梱包重複を設定します。

※ 木取り方式をユニット別にした場合を説明します。

< 梱包重複 0 本の場合 >

ユニット番号 1 の材	
ユニット番号 2 の材	
ユニット番号 3 の材	
ユニット番号 4 の材	

木取り方式で、ユニット別、梱包領域別、屋根面別を指定した場合は、各領域別に木取りを行います。

< 梱包重複 1 本の場合 >

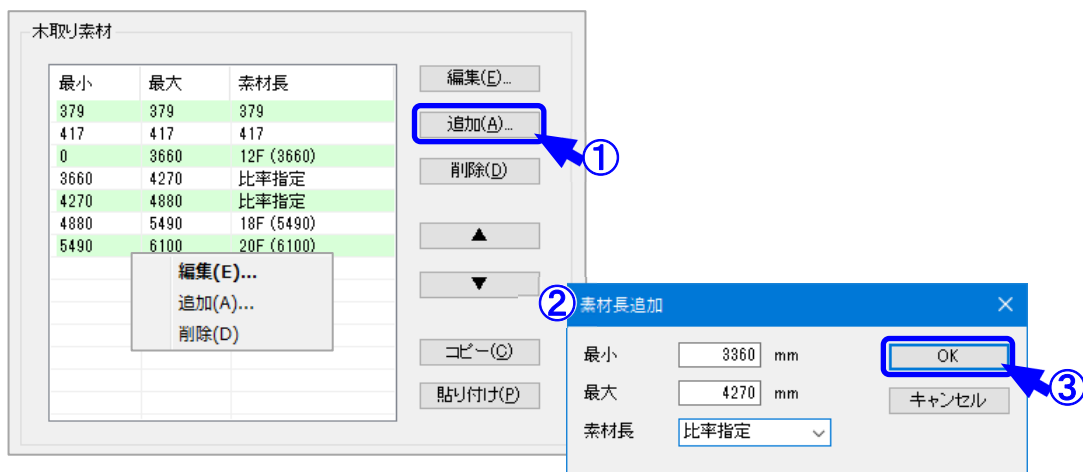
ユニット番号 1 の材	
ユニット番号 2 の材	
ユニット番号 3 の材	ユニット番号 4 の材

< 梱包重複 2 本の場合 >

ユニット番号 1 の材	ユニット番号 3 の材
ユニット番号 2 の材	ユニット番号 4 の材

前ユニット材の残材に繰り上げ可能な場合、重複指定した本数分前に繰り上げることができます。

補助—マスター編集—木取りマスター／編集／区分選択／素材長編集



⑤ 素材長木取り方法を設定します。

① 「追加」をクリックします。

・編集：編集する木取り素材を選択し、「編集」をクリックします。

「素材長編集」の画面が表示されますので、設定後、「OK」をクリックします。

・削除：削除する木取り素材を選択し、「削除」をクリックします。

「削除確認」の画面が表示されますので、「はい」をクリックします。

※ マウスの右クリックからでも「編集」「追加」「削除」できます。

② 「素材長追加」の画面が表示されます。

「素材長」を選択または数値の直接入力で設定します。

※ 「補助—マスター編集」の「材寸マスター—素材長」で設定した数値が選択できます。

「最小」で設定した長さから「最大」で設定した長さの材を素材長テーブルで木取りを行います。

※ 上記設定の場合

<最小：379 最大：379 素材長⇒379>

379 mmの材のみ379で拾います。

<最小：0 最大：3660 素材長⇒12F (3660)>

0 mm～3660 mmで配置された材を12F (3660) で拾います。

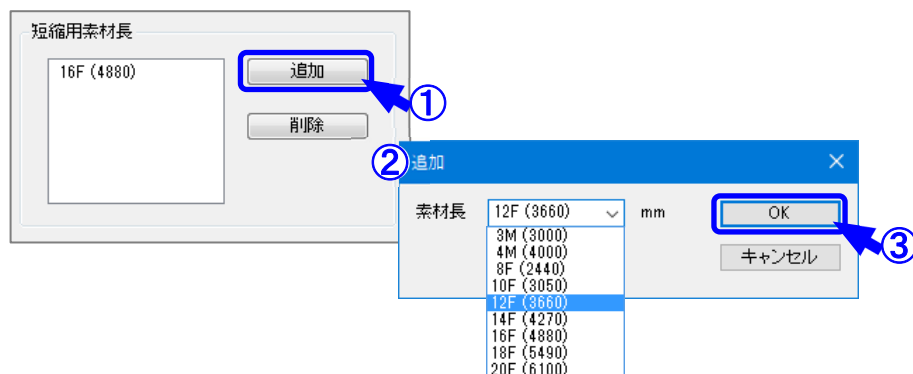
<最小：3660 最大：4270 素材長⇒比率指定>

3660 mm～4270 mmで配置された材は、「素材長比率」で設定した素材長で拾います。

※ 「補助—マスター編集—木取りマスター／素材長比率」のページを参照ください。

③ 設定後、「OK」をクリックします。

補助—マスター編集—木取りマスター／編集／区分選択／素材長編集



⑥ 2段階木取りの為の素材長を設定します。

① 「追加」を選択します。

② 「追加」の画面が表示されます。

短縮用素材長を選択または数値の直接入力で設定します。

※ 「補助—マスター編集」の「材寸マスター—素材長」で設定した数値が選択できます。

③ 設定後、「OK」をクリックします。

木取り素材と短縮用素材長を登録することで2段階の木取りを行うことができます。

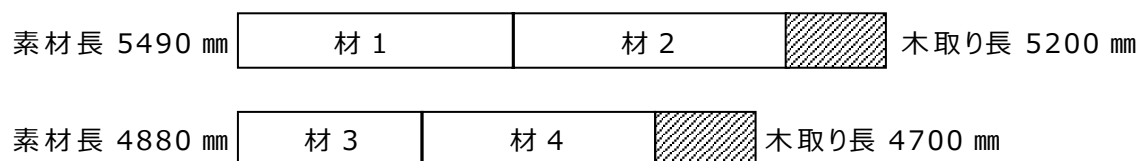
2段階木取りを設定すると、材の無駄をなくして歩留まり率の良い木取りを行うことができます。

<短材用素材長に登録しなかった場合>



<短材用素材長に登録した場合>

⑤で木取りを行った材料を⑥の長さで検索をかけ、現在の素材長より短い材で納まる材は、短い素材長のものに變更します。



 は、材の余った部分です。

※ 積算を実行すると、自動的に2段階の木取りを行います。